



日本一低い谷中 中央分水界のあるまち

# 生 いくさと 郷

第36号 令和元年6月20日  
発行 生郷自治振興会  
編集 魅力づくり委員会  
TEL/FAX (0795) 82-2666

Facebook 生郷自治振興会 検索

## ごあいさつ

生郷自治振興会 会長 酒井 浩二

いよいよ新元号『令和』の新たな時代が始まりました。

平素は、生郷自治振興会にご理解とご協力、ご支援を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。この度の役員改選に伴い、引



続き会長を務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願い致します。

さて、今年は東地区自治振興会が設立されて40年、また生郷自治振興会に改名されて10年を迎える記念すべき節目の年でもあります。

生郷地域では、県立丹波医療センターを含む医療関係施設や市民プラザのオープン、また来年完成予定のアフタースクール新築建設工事並びに氷上回廊水分れフィールドミュージアムのリニューアル工事着工など、次々とビッグプロジェクトが進んでまいります。正しく、生郷地域にとっても新しい時代が始まる『生郷元年』であります。

また、生郷は地理的にも丹波市の中心部にあたり、現上開会中の丹波市未来都市創造審議会においても都市部医療ゾーンに位置づけされており、最も住みたい地域に

挙げられるなど関心が集まっております。

一方、その様な状況の中で、これからは益々の人口減少や高齢化が同時に進んでまいります。当地域においても例外ではありません。

これに伴い、生活関連サービスの縮小や社会保障費の増加により、行政サービスの低下など様々な問題の発生も予想され、今後どのように対応して地域づくりを進めて行くかが大きな課題となってまいります。

生郷自治振興会としましては、昨年ご承認をいただきました新規約の基、新しい組織体制で将来に向けて対応してまいります。

本年度は、『未来に向けた地域づくりを目指す』を目標に「自考・自行、共助、共創」の精神を基本において、更なる強力で魅力的な生郷づくりに取り組んでまいります。

地域住民の皆さまにおかれましても、引き続き多世代にわたり、「自分たちの地域は自分たちで考えていく、人任せにしない」、生郷を愛し、夢をもって生郷づくりに「参画と協働」頂きますようお願い申し上げます。

## 【令和元年度 目標と方向性】

【目 標】 「未来に向けた地域づくりを目指す」

- 【方向性】
- 1 安全安心の地域づくり
  - 2 郷土愛意識の推進
  - 3 未来に向けての地域活性化
  - 4 地域交流の推進
  - 5 地域の自立

## ＜人づくり委員会＞

委員長 真鍋 宏行



人づくり委員会では地域の「人」が集まり積極的な異世代交流活動を計画します。

住民同士が出会い、共に活動する機会を創造し、交流会館は会議や行事だけに利用する施設ではなく、気軽に立ち寄れる住民の居場所となるよう推進していきます。

今年度の事業は、8月25日（日）に第7回生郷ふるさと音楽祭、12月3日（水）～5日（金）には公民館で宿泊しながら通学し、地域の方と交流を深める通学合宿、2月初旬には東小学校で3年生と留学生による餅つき体験学習を予定しています。

生郷の将来像である「子どもたちが20年、30年先、住みたいと思う元気なまち」を目指すには地域の皆さまのご支援ご協力が不可欠ですので、一人でも多くの方々のご参加をお願いいたします。

## ＜環境づくり委員会＞

委員長 堂国 末広



生郷の皆さん、こんにちは。環境づくり委員会の委員長を務めさせていただきます堂国です。

平素は生郷自治振興会ならびに各委員会にご支援、ご協力をたまわり心よりお礼申し上げます。

さて、組織再編で新しく発足しました環境づくり委員会では、防犯・防災・健康・環境活動を軸に生郷の皆さんと共に事業を展開していきたいと考えております。

これから来る高齢化社会に伴い、出張介護教室や健康教室の開催・防犯防災活動の強化・美しいまちづくりの推進等々精一杯務めさせていただきますので何とぞご協力の程よろしくお願い致します。令和元年度の主な事業は次の通りです。

- ① 高齢者にやさしいまちづくりの強化
  - ・出張介護教室の開催
  - ・健康教室の開催
- ② 防犯・防災活動の推進、強化
  - ・生郷防犯防災委員会の開催

・青色パトロールの啓蒙啓発活動の継続

### ③ 環境改善、美しいまちづくりの推進

- ・水分れ駐車場の整備（除草作業・環境パトロール・ツツジの維持管理）
  - ・クリーン作戦（生郷地区一斉）
- ※丹波市一斉クリーン作戦は保健協が主催
- ・高谷川の清掃活動（企業合同）
  - ・花いっぱい運動
  - ・城山向山管理事業（低山会へのハイキングコース整備依頼）

## ＜魅力づくり委員会＞

委員長 松本 尚之



平素は生郷自治振興会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本年度から2年間、魅力づくり委員会の委員長を務めさせていただきます松本です。

魅力づくり委員会の主な事業は、生郷地域の魅力を内外に広く発信することです。本年度の主な事業は次の通りです。

### ① 広報誌発行

これまで教育振興委員会が担当していた広報誌を発行します。本年度は例年通り3回発行する予定です。

### ② 看板の修理と現状調査

本年度は水分れ公園第1駐車場、藤の木橋、狼橋の看板を修理します。そのほか生郷地域各所に設置されている看板の現状を調査し、修理が必要かどうかを検討します。

### ③ 生郷自治振興会創立40周年記念式典

本年度、生郷自治振興会はその前身である東地区自治振興会が発足して40年、また現在の生郷自治振興会に名称が変更されて10年の節目の年に当たります。市内から関係者をお招きして、「人口減少社会における地域づくり」をテーマに基調講演を行い、今後の自治振興会のあり方を考えます。

以上、限りある時間と予算のなかで精一杯事業を行って参りますので、今後とも倍旧のご支援とご協力をお願いいたします。

## 【令和元年度 役員及び各委員会の委員紹介】

(敬称略)

会 長

酒井 浩二

副 会 長

松井 久信  
荻野 浄美

事務局長

小西 美樹

活動推進員

竹内 吉信

会 計

卯野 裕子

### 人づくり委員会

◎は委員長、○は副委員長

氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
◎真鍋 宏行	北野	廣瀬 壮史	氷上中生郷地区PTA地区委員	岩元 隆治	新町
○大西 洋史	スポーツクラブ21氷上東	中村 敦美	こども園保護者会	里 道昭	領町
○田中 信悟	領町	足立 薫	こども園保護者会	柴 美香	大崎
小森 浩資	東小PTA会長	垣内 大介	地頭	大木 雄史	本郷
井本 真也	東小PTA副会長	中井 信次	地頭		
足立 美穂	東小PTA副会長	奥谷 尚良	新町		

### 環境づくり委員会

◎は委員長、○は副委員長

氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
◎堂国 末広	市辺	徳田 義信	農業委員	松尾 一成	丹波ひかみ森林組合理事
○上島 富雄	丹波市防犯協会氷上支部生郷班班長	池上 一幸	農地利用最適化推進委員	酒井 浩二	観光協会地区委員代表
岸 篤宏	ひかみ東商工倶楽部	荻野 吉正	丹波ひかみ農業共同組合専務理事	前田 秀明	消防団第二分団長
				徳舂 隼人	市辺

### 魅力づくり委員会

◎は委員長、○は副委員長

氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
◎松本 尚之	地頭	本田 敦宏	生郷体育振興会会長	田中 茂樹	横田
○足立 一博	人権擁護委員	小森 昌文	踊り保存会生郷連会長	田原 利治	稲継
○川崎 元	生郷地区文化同好会会長	大木 保弘	丹波生郷国際交流協会会長	大内 孝太	サンコーポラス
小西 幸雄	民生委員・児童委員	横谷 恵三	南町		

生郷自治振興会は、東小学校区の11の自治会（地頭、石生新町、領町、南町、北野、大崎、横田、市辺、本郷、稲継、サンコーポラス）と各種団体で構成され、地域の課題に取り組んでいます。

生郷地区は明治40(1907)年から、石生村の「生」と本郷村の「郷」をとり生郷村と呼ばれていました。しかし昭和30年に生郷村・葛野村・沼貫村・幸世村・旧成松町が合併し氷上町が誕生したので、東地区となりました。そして平成16(2004)年に氷上郡は丹波市となり、東地区は元の生郷地区に戻りました。

## 「地域とともにある学校」を めざして

丹波市立東小学校校長 浅田尚克



自然や歴史・文化を活かした魅力ある地域づくり活動が精力的に展開されている生郷地域に、活力・活気を感じずにはられません。

日頃より地域の皆様には、子どもたちの健やかな成長を願い、深い愛情をもって子どもたちを見守り育てていただいておりますこと、また皆様の温かいご支援ご協力をいただき、本校教育が力強く推進できておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、本校は本年度、学校教育目標として「ふるさとに誇りを持ち、進んで学ぶ東っ子の育成」を掲げ教育を推進します。

また、この目標の実現に向け、本年度から新たに「学校運営協議会」を立ち上げ「コミュニティ・スクール」として、「地域とともにある学校」づくりを推進していきます。これは学校だけでなく、地域・保護者の皆様が「東っ子」を育てる当事者として学校運営に参画していただき、目標やビジョンを学校・家庭・地域で互いに共有しながら一体となって子どもたちを育てていくための仕組みです。学校運営協議会を核として、「東っ子」がどのような力を身に付け、どのように育ってほしいかなど熟議を大事にしながら、学校と地域・保護者の皆様とで思いや願いを共有し、同じ方向に向かい協働して、「東っ子」を育てていく取組を進めていきます。

今学校では、来年度から全面実施される新学習指導要領に対応した教育を行うため、教育課程（カリキュラム）を再構築するとともに、授業の充実に全力で取り組んでいます。しかし、こうした取組も、学校だけの取組では真に実を結ぶも

のとはなり得ず、地域・家庭と連携・協働して取り組んでいくことが必要不可欠です。

新学習指導要領がめざす教育では、教育課程の実施に当たり、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりするなど地域との繋がりを大事にするとともに、地域全体を子どもたちの学びのフィールドと捉え、豊かな学びを展開していくことが期待されています。

本校は有り難いことに、これまでから地域・保護者の皆様のご支援ご協力により、授業やクラブ活動等様々な機会に子どもたちの学習の指導やサポートをしていただいております。

また、伝統の「鼓笛隊」や国際交流など地域と学校が連携した特色ある教育活動も活発に展開しています。更に、登下校の安全確保には、見守りボランティアの皆様にも多大なるお力をいただき、また本校が重点的に取り組む「あいさつ運動」の盛り上げにも一翼を担っていただいております。

こうした基盤を大事にしながら、本校は、今後も一層、学校の教育課程や授業に、地域・保護者の皆様がより深く関わっていただき、繋がりを強くし協働してよりよい「東小教育」を創っていきます。併せて、よりよい「東小教育」を創ることを通じて、よりよい「生郷地域」を創っていくという目標を学校・家庭・地域で共有し取り組んでいきたいと考えています。

「地域とともにある学校」づくりは、学校も地域も元気になる取組です。本校は、学校運営協議会を核に「地域とともにある学校」づくりを積極的に推進し、地域・保護者の皆様と手を携えて、「生郷地域」を愛し、これからの時代を切り拓く力を身に付けた、自立した「東っ子」を粘り強く育てていきます。

地域・保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。